

## 出生直後の子牛を温めるメリット



### < カーフウォーマー >

PolyDome社製のカーフウォーマーは、生後数時間までの子牛を温めるドーム型のハッチです。カウハッチに移動する前の、生まれたばかりの子牛を中にいれ、フタを閉めて温風ヒーターをスイッチオン。羊水で濡れてる子牛を数時間でフワフワに乾かすことができます。

子牛の出生直後の寒冷ストレスはその後の初乳摂取の活力や代謝免疫低下の原因となります。

また、厳冬期に寒さで衰弱した子牛の蘇生室としても使えます。

中もすべて水洗いできるので衛生的に管理できます。  
約9万円

### < カーフウォーマー 導入前後での下痢発生 >

カーフサービスに子牛を預託しているある農場のケースです。

この農場はフリーストール飼養で、分娩もフリーストールバーンでおこなわれることが多く、気付いたらフリーストールのコンクリート上に子牛が産まれてた、ということがたまにあります。

この農場から預託される子牛はその後下痢を発症することが多い状況でした。初乳の給与管理に関しては一般的なレベルでおこなわれています。

そこで昨年カーフウォーマーを導入し、子牛が産まれたらまずは温める(乾かす)ということを始めました。よほど汚れてしまっている子牛についてはお湯で洗ってからカーフウォーマーに入れることにしました。そのカーフウォーマーを使い始める前と後での子牛の下痢発生割合が以下のグラフです。

出生直後の子牛の栄養供給と免疫は初乳給与にかかっています。出生直後に低体温で震えている子牛が初乳をただちに飲み始めるでしょうか？

体温の維持には非常に多くのエネルギーを消費します。また、体温の低下は各臓器の機能を低下させ、様々な代謝をも低下させます。

出生というイベント自体が子牛にとって大きなイベントです。それに加えて寒冷感作というストレスは子牛の生命力を著しく低下させるでしょう。

右のグラフはそれらの結果を示しているのではないのでしょうか？

